

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【一般目標：G I O】 身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育のあり方、方法について修得する。				
【行動目標：S B O】 1. 妊娠・授乳期の栄養教育の基本が説明できる。 2. 乳・幼児期の栄養教育の基本が説明できる。 3. 学童期の栄養教育の基本が説明できる。 4. 思春期の栄養教育の基本が説明できる。 5. 成壮年期の栄養教育の基本が説明できる。 6. 高齢期の栄養教育の基本が説明できる。				
回数	授業計画又は学習の主題	SBO		
		番号	学習方法・学習課題	
	1 成壮年期の栄養教育（肥満者への栄養教育の要点等）	5.	講義	
	2 成壮年期の栄養教育（糖尿病患者への栄養教育の要点等）	5.	講義	
	3 成壮年期の栄養教育（高脂血症者への栄養教育の要点等）	5.	講義	
	4 成壮年期の栄養教育（腎臓病者への栄養教育の要点等）	5.	講義	
	5 幼児期の栄養教育（幼児期の特性、栄養教育の要点等）	2.	講義	
	6 幼児期の栄養教育（偏食・食物アレルギーがある幼児への栄養教育の要点等）	2.	講義	
	7 学童期の栄養教育（学童期の特性、栄養教育の要点等）	3.	講義	
	8 思春期の栄養教育（思春期の特性、栄養教育の要点等）	4.	講義	
	9 思春期の栄養教育（スポーツ実施者への栄養教育の要点等）	4.	講義	
	10 妊娠・授乳期の栄養教育（母性栄養の意義と特性、栄養教育の要点、妊娠中にみられる疾病別栄養教育の要点等）	1.	講義	
	11 妊娠・授乳期の栄養教育（授乳婦の特性、栄養教育の要点等）	1.	講義	
	12 乳児期の栄養教育（乳児の特性、乳汁栄養及び離乳食の進め方等）	2.	講義	
	13 高齢者の栄養教育（高齢者の特性、栄養教育の要点等）	6.	講義	
	14 高齢者の栄養教育（咀嚼、嚥下困難者への栄養教育の要点等）	6.	講義	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	栄養教育論（出版社未定）			
参考書				
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			
【評価方法】 出席状況、授業中の態度、課題発表、定期試験から総合的に評価する。	【履修上の留意点】			